

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない低炭素なまちづくり
基本方針	1-1	地球温暖化の抑制と温暖化への適応
基本施策	1-1-1	CO2などの温室効果ガス排出量の削減
	1-1-2	気候変動適応策に関する普及啓発

作成日	令和5年5月17日
担当課	環境課
担当者	岡部 孝司

2. 環境指標

環境指標名	市民1人1日あたりの温室効果ガス排出量
指標解説	埼玉県市町村温室効果ガス排出量推計報告書における、本市の年間温室効果ガス総排出量を人口で割り、1日あたりの平均で求めた値であり、環境問題への負荷を低減し、自然環境の保全が行われているかを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
	埼玉県地球温暖化対策実行計画における令和4(2022)年度目標値を基に、目標値を設定した。	kg-CO2/ 人・日	21.37	22.08
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	R5年度に公表された埼玉県市町村温室効果ガス排出量推計報告書市町村温室効果ガス総排出量/報告書の対象となる年度末の人口/年間日数(365日)	kg-CO2/ 人・日	23.51	15.97

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用省エネ設備設置費補助事業により住宅用省エネ設備219件に補助金を交付 ・事業用向けの太陽光補助金について、市のホームページに掲載 ・住宅用に緑のカーテン用苗を配布し、緑のカーテンの設置推進 ・緑のカーテンコンテストを実施し、市民や事業者にも緑のカーテンの設置推進 ・市民を対象にダンボールコンポスト講習会を実施 ・エコ通勤の推進啓発 ・環境啓発動画について小学校による活用
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	昨年度の課題であった、指標値に用いていた埼玉県が策定する埼玉県市町村温室効果ガス排出量推計報告書の計算方法の変更による目標値との乖離については、環境基本計画の見直しに伴い、令和5年度以降の指標を環境省の作成する「自治体排出量カルテ」による本市の総排出量に変更することにより、より正確な数値を管理することが可能となった。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない低炭素なまちづくり
基本方針	1-2	エネルギーの有効利用
基本施策	1-2-1	使用エネルギー削減への取組推進
	1-2-2	再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー導入推進

作成日	令和5年5月17日
担当課	環境課
担当者	岡部 孝司

2. 環境指標

環境指標名	太陽光発電システム導入容量
指標解説	固定価格買取制度開始後に認定を受けた、市内の事業者や市民等が設置した全ての太陽光発電システム導入容量であり、エネルギーの利活用を測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
	国のエネルギーミックス2030年導入見込量を基に、目標値を設定した。	kW	77,821	59,995
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	資源エネルギー庁が公表している固定価格買取制度設備導入状況より ※実績値は、公表されている直近の年度末値(2022年3月末)を記載している。	kW	59,086	110,348

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷商工会議所及びふかや市商工会の広報に同制度を掲載 ・市ホームページに同制度を掲載 ・住宅用省エネ設備設置費補助事業により太陽光発電システム102件に補助金を交付
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	<p>太陽光発電設備の新規認定導入容量は引き続き県内でもトップクラスであり、目標を大きく上回った。本市では深谷市が出資するふかやeパワー(株)を活用したエネルギーの地産地消等を推進していることから、引き続き太陽光発電システムの普及促進を図っていく。</p> <p>また、住宅用省エネ設備設置費補助金について令和5年度予算を大幅に増加した。設備ごとの補助上限額も引き上げたため太陽光発電システムの導入容量がどの程度増加するかは未定だが、さらなる普及に期待したい。</p>
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり
基本方針	2-1	資源の有効活用と廃棄物処分量の削減
基本施策	2-1-1	3R 活動などによる資源再利用の推進
	2-1-2	分別の促進による処分量の削減

作成日	令和5年4月25日
担当課	環境衛生課
担当者	荻原 康裕

2. 環境指標

環境指標名	市民1人1日あたりの家庭系ごみの排出量
指標解説	資源物及び使用済小型家電を除く家庭系ごみの市民1人1日あたりの平均排出量であり、ごみの発生が抑制され、再利用が促進されているかを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		深谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画における令和8(2026)年度削減目標値を更に削減することを目指し、目標値を設定した。	g/人・日	657
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	市民1人1日あたりのごみの排出量は、深谷市全体の家庭から出るごみの総量より、資源物及び使用済小型家電のごみの量を除き家庭系ごみを人口と年日数で除いたものである。	g/人・日	681	726

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成にむけた 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌にてごみ減量化の啓発を行った。 ・ ホームページにて、プラスチック製レジ袋有料化についての周知を行った。
------	---	------------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・ 具体的な 改善策	持続可能な資源循環型社会の構築には、ごみの減量化やリサイクルを心がけている市民を増やし、ごみ排出量の削減を図ることが大切である。市民のごみ減量への取組みやリサイクルへの取組は浸透しているが、更なる「ごみの減量」と「リサイクルを推進する意識の向上」のため、市民への情報発信を引き続き行うこととする。
--------	---	--------------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり
基本方針	2-2	適切な廃棄物処理の実施
基本施策	2-2-1	廃棄物処理施設の整備
	2-2-2	不法投棄などによる未処理廃棄物量の削減

作成日	令和5年4月25日
担当課	環境衛生課
担当者	木村 明人

2. 環境指標

環境指標名	不法投棄の苦情受付件数
指標解説	市民等からの不法投棄の苦情通報を受付した件数を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		過去5年間における不法投棄の苦情通報の最も少なかった件数を下まわることを目指し、目標値を設定した。	件	16
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	不法投棄相談受付台帳により算出	件	26	17

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ運動の実施(春と秋の年2回) ・不法投棄禁止等を周知する啓発看板の配布(ごみのポイ捨て禁止看板:21枚配布、不法投棄禁止看板:27枚配布) ・深谷市くらしの環境美化条例の運用(空地・空家の雑草等適正管理の指導通知発送件数:66件、除草等により是正された件数:41件) ・荒川クリーン協議会に参加(河川敷に投棄されたごみの一斉撤去の実施)
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 <p>不法投棄は、市で収集・処理が困難な家電製品や建築廃材などが投棄されている状況である。不法投棄の行為者が特定できる場合や産業廃棄物の不法投棄など悪質なものについては、警察や県などの関係機関と連携して対応を行なっているが、最終的には行為者の特定に至らないため、市で回収をせざるを得ない状況である。現在、市が対応可能な不法投棄物については、すべて回収している。また啓発看板の市民への配布も年々増加しており、市民の監視意識の向上にもつながっている。</p>
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり
基本方針	3-1	自然やみどりの環境の保全
基本施策	3-1-1	自然緑地の適正管理、公園等の緑地の保全
	3-1-2	水辺の環境保全の推進

作成日	令和5年5月11日
担当課	公園緑地課
担当者	新井 一富

2. 環境指標

環境指標名	市内の公園面積
指標解説	身近にある自然と親しめ、憩いの場である市内全体の公園面積を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		深谷市緑の基本計画における令和11(2029)年度整備目標値を基に、目標値を設定した。	ha	156.53
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	平成28年度末の市内公園面積を基に、令和4年度末までに新規に整備した公園(帰属含む)の面積の合計を記載している。	ha	147.62	147.86

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	深谷市緑の基本計画に基づき関係各課や関係機関と連携をとり、緑地の確保に向け事業を進めている。
------	---	--------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	深谷市緑の基本計画に基づき関係各課や関係機関と連携をとり、緑地の確保に向け事業を進めていく。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり
基本方針	3-2	生き物の多様性の保全
基本施策	3-2-1	地域の生態系の保全
	3-2-2	特定外来生物対策

作成日	令和5年5月1日
担当課	農業振興課
担当者	竹内 祐貴

2. 環境指標

環境指標名	アライグマによる農作物被害面積
指標解説	アライグマの捕獲により農地への被害面積の増加を抑え、在来生物を保護し、優良な農地の保全を図る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		アライグマの捕獲頭数は増加しているが、農業被害面積の拡大を防ぐことを目指し、目標値を設定した。	a	101
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	アライグマ一頭当たりの被害面積×捕獲頭数 (一頭当たりの被害面積は過去の被害実績に基づいて算出)	a	101	307

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	D	目標達成に向けた取組内容 ・深谷市鳥獣害対策協議会において、野生動物侵入防止用電気柵の貸出しを行った。 ・アライグマ捕獲用箱ワナの貸出しを行い、市内で765頭のアライグマが捕獲された。
------	---	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 深谷市鳥獣害対策協議会へ、有害鳥獣から農産物の被害を防止するために実施する対策に係る経費に対し補助を行い、その補助金をもって、侵入防止用の電気柵の購入経費への補助を実施する。
--------	---	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり
基本方針	4-1	安全な生活環境の保全
基本施策	4-1-1	湧水・地下水・土壌などの環境の保全
	4-1-2	健康を脅かす有害物質等の監視

作成日	令和5年4月13日
担当課	環境課
担当者	佐藤秀和

2. 環境指標

環境指標名	河川水質環境基準(BOD)達成率
指標解説	市内河川水質調査において、河川水質基準を達成した箇所の割合で、公害対策が推進されていることを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		全ての測定地点で河川水質基準の達成を目指し、目標値を設定した。	%	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	環境基準達成地点数(3地点)÷環境基準適用地点数(4地点)	%	50.0	75.0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	C	目標達成に向けた 取組内容	・市内の環境基準適用河川の4つの場所で2ヶ月に一度、BODを含めた水質測定を実施した。
------	---	------------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	河川の水質については、水路工事や気象条件等による流入水量の変動から大きな影響を受けることも多いが、汚染原因となるものに関して、県と連携しながら解消に努めていく。 野菜加工工場の排水に起因すると思われる河川の水質悪化が確認されており、指導権限を持つ県北部環境管理事務所と監視、指導を行っていく。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり
基本方針	4-2	心休まる環境の保全
基本施策	4-2-1	空気のきれいさ・静けさなどの生活環境の保全
	4-2-2	景観、文化財などの保全

作成日	令和5年4月13日
担当課	環境課
担当者	佐藤秀和

2. 環境指標

環境指標名	公害苦情相談処理率
指標解説	公害苦情の相談に対し、解決に至った割合を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		全案件について解決することを目指し、目標値を設定した。	%	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	解決した公害苦情件数÷公害苦情総数 (3÷3)	%	90.7	100.0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた 取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、悪臭などに関する外部研修への参加 ・定期的なパトロール
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な 改善策 <p>公害苦情の数は少な目で推移している。 過年度からの繰り越しの2件については、R5末で一旦解決とした。 今後も引き続き迅速丁寧に対応していく。</p>
--------	---	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり
基本方針	5-1	環境への関心の喚起と環境情報の提供
基本施策	5-1-1	学校や市民への環境学習機会の確保
	5-1-2	環境情報ツールの普及促進

作成日	令和 5年 5月22日
担当課	学校教育課
担当者	島田 直也

2. 環境指標

環境指標名	市内小・中学校におけるエコライフDAYの参加実施率
指標解説	埼玉県と県内の各市町村、学校、事業所等が協力・連携して実施するエコライフDAYへの市内小・中学校における参加率であり、簡単なチェックシートを利用し、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を1日実践することにより、地球温暖化防止のためのライフスタイルを見直すきっかけづくりを示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		毎年度、市内全小・中学校の参加を目指し、目標値を設定した。	%	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	市内小中学校の実施校数/市内小中学校数	%	100.0	96.7

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校にエコライフDAYの参加呼びかけ ・児童・生徒へチェックシートを配布(コロナ禍においても環境に目を向ける指導) ・長期休業日・週末を利用した家庭での活用 ・チェックシートに基づいた地球温暖化対策の推進
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	学校教育課では公立小中学校の参加を呼び掛けているが、公立小中学校は全校で実施できた。一部の学校では、全学年で実施していない学校もあるため、今後はより多くの生徒が実践できるよう努めていきたい。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和4(2022)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり
基本方針	5-2	各主体間の連携強化と環境保全活動の実施
基本施策	5-2-1	人づくりやネットワーク構築の支援
	5-2-2	環境保全活動の開催、関連団体への支援

作成日	令和5年4月13日
担当課	環境衛生課
担当者	荻原 康裕

2. 環境指標

環境指標名	集団資源回収量
指標解説	深谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱に定める登録団体における集団資源回収量で有価物の資源化を測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和4 (2022)年度
		深谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画における令和8(2026)年度目標値を踏まえ、目標値を設定した。	t	3,826
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	令和4 (2022)年度
	深谷市リサイクル活動推進奨励金要綱に定める登録団体(275団体)のうち令和4年度活動団体(118団体)の1年間の集団資源回収量である。	t	3,638	1,830

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	D	目標達成に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」・「リサイクル」・「地域の集団回収」について掲載した。 ・広報誌にて集団資源回収の周知を行い、資源再利用の推進とごみの減量化の啓発を行った。 ・令和4年1月より対象品目に6種(雑がみ・シュレッダーごみ・スチール缶・スプレー缶・ペットボトル・ペットボトルキャップ)を追加した。
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	紙資源のリサイクルを徹底するため、「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」・「リサイクル」・「地域の集団回収」について掲載する。このほか、市の各イベント、広報及びHP等において、資源再利用のPRを行うことにより、資源の再資源化の推進を図る。
--------	---	------------	---